

## 《Lesson 3》 分詞を使った後置修飾

- ・後置修飾 = 現在分詞や過去分詞を使って名詞を後ろから修飾する形
- ・現在分詞を使うと「～**している**○○」というフレーズを作ることができ、過去分詞を使うと「～**(さ)れた**○○」「～**した(し終えた)**○○」というフレーズを作ることができる。
- ・Lesson 1 と Lesson 2 では、以下のように「現在分詞／過去分詞の1語で修飾」「名詞の前に置かれる」という特徴があった。

<例> That **sleeping baby** is my daughter.

(あの寝ている赤ちゃんは、私の娘です)

Those **fallen leaves** are beautiful.

(私は、私の盗まれた財布を見つけました)

しかし、今回は以下の2点の特徴がある。

- ・**現在分詞／過去分詞を含む2語以上で修飾** (「フレーズで名詞を修飾する」イメージ)
- ・**名詞の後に置かれる**

<例> Who is **the student standing by the door?**

(ドアのそばに立っている生徒は誰ですか)

I have read **a book written by that author.**

(私は、あの作家によって書かれた本を読んだことがあります)

### 【分詞を使った後置修飾：作り方】

ステップ①：「名詞」と「修飾するフレーズ」が何なのか見分ける。

ステップ②：「名詞+修飾するフレーズ」の形にする。

ステップ③：動詞など、文の他の部分を足す。

### <例1> 「ドアのそばに立っている生徒は誰ですか」という文の場合

ステップ①：「名詞」と「修飾するフレーズ」が何なのか見分ける。

名詞：「女の子」 = the student

修飾するフレーズ：「ドアのそばに立っている」 = standing by the door

ステップ②：「名詞+修飾するフレーズ」の形にする。

the student standing by the door

ステップ③：動詞など、文の他の部分を足す。

Who is the student standing by the door?

<例2> 「私は、あの作家によって書かれた本を読んだことがあります」という文の場合

ステップ①：「名詞」と「修飾するフレーズ」が何なのか見分ける。

名詞：「本」 = a book

修飾するフレーズ：「あの作家によって書かれた」 = written by that author

ステップ②：「名詞+修飾するフレーズ」の形にする。

\_\_\_\_\_ a book written by that author \_\_\_\_\_

ステップ③：動詞など、文の他の部分を足す。

\_\_\_\_\_ I have read a book written by that author. \_\_\_\_\_

**ポイント！関係代名詞を使って同じ意味の文章を作ることも可能**

分詞を使った後置修飾は、関係代名詞を使って同じことを言うことが可能な場合が多いです。  
この際、be 動詞を忘れないようにするのがポイントです。

<例> Who is the student standing by the door?

= Who is the student **who is** standing by the door?

I have read a book written by that author.

= I have read a book **which was** written by that author.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。